

【新規格付け】 中日本高速道路第9回社債： A A A
第10回社債： A A A

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

中日本高速道路は道路関係4公団民営化で発足した高速道路会社6社中の1社。東名高速道路、中央自動車道など基幹道路を管理・運営しており、事業基盤は強固である。日本高速道路保有・債務返済機構(機構)との協定に基づき、新東名高速道路など420キロメートルを建設中。建設工事は2020年度まで続く見通し。高速道路建設に係る借入金や社債は、道路が完成し機構に引き渡される際に、原則として調達した時期の古い順に、機構と重畳的に引き受けられた債務になる。道路建設に支障を来たしても道路建設債務は機構(間接的には国)によって保護される可能性が極めて高く、当該社債の元利払いの確実性は債務引受前であっても機構の信用力(発行体格付け=A A A)に帰着すると判断、機構と同じ格付けにしている。一方、高速道路周辺で展開する休憩所など関連事業は、高速道路事業に比べ事業規模が小さいうえ、収入が安定しており、今のところリスクは限定的である。

しかし、交通需要の減少、道路特定財源の一般財源化など高速道路を取り巻く環境が従来に比べ厳しさを増している点には留意する必要がある。また、衆議院選挙が近づいていることもあり、参議院第一党の民主党が(1)高速道路の無料化(2)機構の廃止(3)高速道路6社の統合、一定の期間後、業務ごとに分割・民営化する、などの方針を打ち出している点はチェックポイントである。

当該格付けに適用した主要な格付方法は「政府系機関の格付けの考え方」である。この格付方法は、格付けを行うにあたり考慮したその他の格付方法とともに下記のウェブサイトに掲載している。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/rating/rating/methodology.html>

【格付対象】

発行者：中日本高速道路

名 称	第9回、第10回社債(一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付)
発行額	第9回=200億円、第10回=100億円
発行日	ともに 2009年7月31日
償還日	第9回=2014年6月20日、第10回=2019年6月20日
表面利率	第9回=0.85%、第10回=1.57%
格付け	A A A (新規)
債務引受の予定先	独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構
担 保	一般担保付
社債管理者	みずほコーポレート銀行